

150のHistory

1935(昭和10)年~1939(昭和14)年

この頃の思い出

「當麻小学校110周年史」には、1927年から1940年の思い出が綴られています。この思い出を紐解くと、次のようなことが分かります。

・高田に飛行機が飛来したとき、みんなで高田まで歩いて見に行った。当時は當麻地区で自動車を見ることもめったになかったので、飛行機を見に行く前夜は興奮して寝付けなかった。

・当時は40人の同級生で、中学校に行くのは3~4人ぐらいだった。当時は農業が中心で、農家を継承させたいという親の願いが強かった。この当時、小学生だった同級生は、その後戦争に行き、亡くなってしまった。

・当時は夏になると、池で泳いでいた。高学年が見張りをして、安全を監視していた。

・1931年に郡の運動会があり、男女とも4人組リレーで優勝した。當麻小学校はじめて以来の慶事だということで、全校児童が駅まで出迎えてきてくれた。ご褒美に当時としては貴重なノート5冊をもらった。

また、当時當麻小学校に勤務された先生が「素朴な児童が多い」と回想されています。これは今にも通じることのように思います。

新運動場完成

1937年に新運動場が完成したという記録が残っています。この運動場は、現在のプールと体育館、その南側にあったという記録が残っています。

この頃の當麻連座



二共 祝賀ノ迎來供練寺麻當山上二和大



二共 祝賀ノ迎來供練寺麻當山上二和大

奈良県立図書情報館 奈良の今昔写真WEB より